

沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会（第2回）議事概要

- 1 開催日時：令和6年9月5日（木）14:00～16:07
- 2 開催場所：平和祈念資料館 2階大会議室
- 3 出席委員：宮城晴美、瀬戸隆博、古賀徳子、謝花直美、鳥山淳、里井洋一、新城俊昭、山城彰子、石堂徳一、宮良純一郎、山口剛史、（オンライン）林博史、今理織

事務局： 沖縄県平和祈念資料館 館長 前川早由利、学芸班長 中山晋、主幹 比嘉栄司、主査 嶺井京子、主査 棚原和宏、主任 仲程勝哉、学芸員（臨任）川満彰、学芸員 大城航、学芸員 玉城優子
八重山平和祈念館（オンライン） 分館長 比嘉丞、主査 上原峻人

4 議題等

- (1) 各部会における検討状況報告〔資料3〕
- (2) 各部会におけるリニューアルの検討事項〔資料4〕
- (3) 本館展示に関するアンケート結果〔資料5〕
（資料3と資料4については、事務局が取り下げたため、公表なし。）

5 議事等

- (1) 各部会における検討状況報告について
 - ア 吉浜委員長の御逝去に伴い、宮城副委員長が進行した。事務局が資料3に基づいて説明を行った。
 - イ 委員から次のような発言があった。
 - （戦前・戦中時代部会）
 - ・ 資料3は、各委員の確認が取れていないため、あくまで事務局の備忘録という扱いとなる。
 - ・ 部会の報告をどういう形で監修委員会に報告するか、改めて検討する必要がある。
 - （戦後時代部会）
 - ・ 戦前・戦中時代部会と同様に、監修委員会への報告内容について、改めて検討することを提起したい。
 - （平和の発信・学習部会）
 - ・ 検討内容を事務局側で要約することで齟齬が生まれているので、部会での検討内容は要約せず、生のままがよい。
 - ・ 事務局には、監修委員会の論点は何か、議論してほしいことは何なのか、基本構想のどこを深めてほしいのかなどを明らかにしてほしい。それを部会長と相談するということは考えられる。
 - ・ 1階は平和祈念財団が管理し、案内をしている。この部分についてどのような形でキュレーションするかというのは、きちんと考えないといけない。

(八重山平和祈念館)

- ・部会としての結論を出したわけでない。さまざまな意見に対してどうすればよいか、現在も検討中。今後の部会を踏まえながら、よりよい方向にもっていきたいと考えている。

ウ 審議結果

- ・資料3は取り下げる。
- ・事務局提案か部会検討結果かわかるような資料の出し方に改める。

(2) 各部会におけるリニューアルの検討事項について

ア 事務局が資料4の説明を行った。

イ 委員から次のような発言があった。

- ・資料4については、部会の意見での検討結果ではなく、事務局としての案なので、(そのままでは)混乱を招く。

ウ その他の検討内容などを共有した。

(戦前・戦中時代部会)

- ・第1室では、沖縄戦を経験した家族それぞれの体験を通して住民の沖縄戦をみせられないかという話が出ている。
- ・第2室は、映像を多くの人に見てもらえる空間にしたい。また、映像に住民の証言を入れるなどして、映像を見れば沖縄戦が分かるものに作り変えたいという話がでている。
- ・第3室、第4室については必要な説明の追加や部分的な修正に留め、現在の展示を生かしていく方向で話をしている。

(戦後時代部会)

- ・第5室は、復帰後の出来事を追加するために、今の構成を改める必要があるということは、部会内で共有できていると思う。
- ・戦中と戦後の間については、戦前・戦中時代部会とも調整していきたい。
- ・「むすびのことば」をどうしていくかについては、今後監修委員会で検討すべき課題。

(八重山平和祈念館)

- ・八重山平和祈念館の基本理念、設置の目的がマラリアの慰藉事業だったため、全体で分館の位置づけを整理しておいたほうがいいという議論があり、文言に反映されている。
- ・来館者が持ち帰ることのできるリーフレット等についても検討をしたい。
- ・展示ケースや保管庫など、博物館施設としての機能に係る部分についてどこまで踏み込むかは、もう少し考えていきたいと思っている。

エ 審議結果

- ・資料4は取り下げる。
- ・資料3同様、事務局提案か部会検討結果かわかるような資料の出し方に改める。

(3) 本館展示に関するアンケート結果について

ア 事務局が資料５の説明を行った（時間の都合で説明のみ）。

令和６年１２月２７日

知事公室 平和祈念資料館

① 来館者アンケート調査結果の概要

1. 目的

来館者の属性や来館目的、各展示室に対する理解度や感想などを把握・分析することにより、展示更新に係る方向性検討・サービス向上に寄与すべくアンケートを実施した

2. 実施期間

平成 31（2019）年 4 月～令和 6（2024）年 3 月

3. 対象者

沖縄県平和祈念資料館への来館者

4. 回答者数

4,022 名 ※「年齢」回答者数及び自由記述回答者数を集計

5. 調査方法

調査票（「6. 調査票」参照）を次の 2 か所で配布し、利用者の回答を得た。

① 海と礎の回廊

② 子どもプロセス展示室前

また、集計は以下の方法で実施した。

・複数回答があった場合は、それぞれの回答をカウントした

・性別、無回答欄はカウントしていない

※全般的にコロナ禍に実施されたアンケートであることを考慮する必要がある

6. 調査の概要

（1）回答者の属性

① 年齢

10 代が最も多く全体の 45%を占めている。これは、修学旅行で訪れる機会が多いことが原因と推察される（③職業、2. 来沖目的参照）。

② 居住地

関東が多く全体の約 30%を占めている。また海外からの訪問者も全体の約 16%と比較的多い。一方、沖縄県は約 17%となっている（なお、2. 来沖目的とは回答者数が異なる）。

③ 職業

高校生が最も多く全体の約 26%を占めている。また中学生、小学生を合わせると、児童・生徒が全体の 54%と半数以上を占めている。

(2) 沖縄来訪の目的

観光が最も多く全体の約 45%を占めている。また、修学旅行も多く、全体の約 28%を占める。

(3) 同行者

家族が最も多く全体の約 37%を占めている。また、団体も多く、全体の約 31%を占める。

(4) 資料館を知った手段

ガイドブックが最も多く全体の約 25%を占めている。一方、再訪（全体の約 24%）や観光コースに含まれている（全体の約 23%）も多い。

(5) 常設第 1 展示室：戦前の沖縄の姿とアジア・太平洋戦争の流れについて

展示内容をよく理解できた（全体の約 56%）、初めて知る内容があり興味が持てた（全体の約 30%）と、展示内容を評価する回答が全体の約 86%を占めた。

(6) 常設第 2 展示室：沖縄戦全体の流れについて

展示内容をよく理解できた（全体の約 59%）、初めて知る内容があり興味が持てた（全体の約 28%）と、展示内容を評価する回答が全体の約 87%を占めた。

(7) 常設第 3 展示室：住民を巻き込んだ悲慘な沖縄戦の実相について

展示内容をよく理解できた（全体の約 67%）、初めて知る内容があり興味が持てた（全体の約 24%）と、展示内容を評価する回答が全体の約 91%を占めた。

(8) 常設第 4 展示室：証言文や映像をとおした戦争の悲慘さについて

展示内容をよく理解できた（全体の約 63%）、初めて知る内容があり興味が持てた（全体の約 26%）と、展示内容を評価する回答が全体の約 89%を占める。

(9) 常設第 5 展示室：戦後の米国統治と日本復帰後の沖縄の状況について

展示内容をよく理解できた（全体の約 57%）、初めて知る内容があり興味が持てた（全体の約 27%）と、展示内容を評価する回答が全体の約 84%を占めた。

(10) 子どもプロセス展示室について

展示内容をよく理解できた（全体の約 48%）、初めて知る内容があり興味が持てた（全体の約 25%）と、展示内容を評価する回答が全体の約 73%を占めるが、他の常設展示室と比べると、よく理解できたと回答した割合は 10 ポイントほど低くなっている。

(11) 一番関心を持った展示について

第 3 展示室が最も多く（全体の約 35%）を占め、次いで第 4 展示室（全体の約 23%）となっている。一方、第 1 展示室、第 2 展示室や第 5 展示室は、それぞれ全体の約 11～14%と同程度、子どもプロセス展示は全体の約 5%となっている。

(12) 当資料館の展示をとおして、戦争の悲惨さや平和の尊さが感られたか

「非常に感じる事ができた」が、約 89%を占めており、当資料館の展示内容が、来館者に理解されるとともに来館者の心を打ったことが示唆される。

(13) 自由記述について

自由記述欄に寄せられた内容を「感想」「改善・要望」「苦情・指摘」に整理した。

なお「感想」「改善・要望」「苦情・指摘」の割合は、展示内容を肯定的に評価したり、来館者自身の素直な気持ちを記した「感想」が約 90%となっており、「改善・要望」は約 7%、「苦情・指摘」は約 3%となっている。

① 感想

平和祈念資料館を訪れて感じた素直な気持ちをはじめ、「ガマ」や「証言」など具体の展示に対する感想、一步踏み込んだ学びへの感想や戦争体験の継承の大切さ、来館を踏まえた沖縄の現状に言及した感想など、多種多様な感想が記述されている。

② 改善・要望

「展示内容の充実、研究成果等の追加について」の意見が最も多く、次いで「外国語対応について」、「説明板、機材更新について」となっている。

③ 苦情・指摘

「歴史的事実認識等について」の意見が最も多く、次いで「来館者マナー、入場制限等について」、「機材について」となっている。

7. 調査票

(表面)

沖縄県平和祈念資料館

ご入館日：西暦 年 月 日 () 曜日 (午前・午後)

本日は、ご来館いただきましてありがとうございます。

今後の資料館運営の参考にさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いいたします。

「海と礎(いしじ)の回廊」の、アンケート入力画面でご入力なされた方は、裏面へおすすみ下さい。

年 齢：□10代未満 □10代 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70代 □80代 □90代以上
お住まい：□北海道 □東北 □関東 □中部 □近畿 □中国 □四国 □九州 □沖縄 □海外
性 別：□男 □女
職 業：□小学生 □中学生 □高校生 □大学生 □教員 □公務員 □会社員 □自営業 □その他

1 どのような目的で沖縄をご訪問されましたか

- ☐ 観 光
☐ 商用など
☐ 調査・研究や催し物参加など
☐ 修学旅行
☐ 県内在住者

2 どなたと一緒にご来館されましたか

- ☐ 個人で
☐ 友人・知人と一緒に
☐ 家族・親戚と一緒に
☐ 団体旅行
☐ その他

3 どのようにして当資料館をお知りになりましたか

- ☐ 旅行ガイドブック・出版物等で
☐ 友人・知人のすすめで
☐ 観光コースを含む
☐ 以前にも来たことがある(旧館を含む)
☐ 当地で初めて知った

4 戦前の沖縄の姿とアジア・太平洋戦争の流れについて
(常設第1展示室)

- ☐ よく理解することができた
☐ 初めて知る内容があり興味が持てた
☐ 何となく理解することができた
☐ 余り関心が持てなかった
☐ 分からない

5 沖縄戦全体の流れについて(常設第2展示室)

- ☐ よく理解することができた
☐ 初めて知る内容があり興味が持てた
☐ 何となく理解することができた
☐ 余り関心が持てなかった
☐ 分からない

6 住民を巻き込んだ悲惨な沖縄戦の実相について
(常設第3展示室)

- ☐ よく理解することができた
☐ 初めて知る内容があり興味が持てた
☐ 何となく理解することができた
☐ 余り関心が持てなかった
☐ 分からない

7 証言文や証言映像をととした戦争の悲惨さについて
(常設第4展示室)

- ☐ よく理解することができた
☐ 初めて知る内容があり興味が持てた
☐ 何となく理解することができた
☐ 余り関心が持てなかった
☐ 分からない

8 戦後の米国統治と日本復帰後の沖縄の状況について
(常設第5展示室)

- ☐ よく理解することができた
☐ 初めて知る内容があり興味が持てた
☐ 何となく理解することができた
☐ 余り関心が持てなかった
☐ 分からない

9 あなたが一番関心を持たれた展示はどの展示ですか

- ☐ 第1展示室：戦前の沖縄の姿と
アジア・太平洋戦争の流れについて
☐ 第2展示室：沖縄戦全体の流れについて
☐ 第3展示室：住民を巻き込んだ
悲惨な沖縄戦の実相について
☐ 第4展示室：証言文や証言映像をととした
戦争の悲惨さについて
☐ 第5展示室：戦後の米国統治と
日本復帰後の沖縄の状況について

10 当資料館の展示をとおして、あなたは戦争の悲惨さや
平和の尊さを感じることができましたか

- ☐ 非常に感じる事ができた
☐ 何となく感じる事ができた
☐ 感じる事ができなかった
☐ 分からない

ご意見・ご感想等ございましたら、
裏面にご記入下さい。

沖縄県平和祈念資料館

ご意見・ご感想欄

本日は、ご来館いただきましてありがとうございます。

今後の、資料館運営の参考にさせていただきますので、みなさまの、ご意見・ご感想をお聞かせ下さいますようお願いいたします。

ご入館日：西暦 年 月 日 ()曜日 (午前・午後)

年 齢： ☐ 10代未満 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代 ☐ 90代以上										
お住まい： ☐ 北海道 ☐ 東北 ☐ 関東 ☐ 中部 ☐ 近畿 ☐ 中国 ☐ 四国 ☐ 九州 ☐ 沖縄 ☐ 海外										
性 別： ☐ 男 ☐ 女										
職 業： ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生 ☐ 大学生 ☐ 教員 ☐ 公務員 ☐ 会社員 ☐ 自営業 ☐ その他										
お差し支え無ければご記入下さい。										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">都 道 府 県 名</th> <th style="text-align: center;">区 市 町 村 名</th> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table>	都 道 府 県 名	区 市 町 村 名			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">お 名 前</th> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table>	お 名 前		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">ご 職 業</th> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table>	ご 職 業	
都 道 府 県 名	区 市 町 村 名									
お 名 前										
ご 職 業										

みなさまのご意見・ご感想は『資料館だより』などでご紹介する場合があります。
 ~~~ ご協力ありがとうございました。~~~



## 8. 自由記述の主なご意見

### (1) 感想

#### ① 展示や資料館自体に関する感想

平和祈念資料館にきて、分からなかったことがたくさん分かった／ほかの平和資料館よりもリアルでとても勉強になった／小さい人がこんなに残酷で悲惨な目に遭っていたというのがわかって、何とも言えない気持ちで胸がいっぱいになった／民間人に焦点をあてたのが良かった（アメリカ）／今まで行った戦争資料館の中で一番すごかった／とても考え抜かれた資料館で、非常に公正で納得できた（イギリス） など

#### ② 学びや次代への継承等に関する感想

改めて戦争の悲惨さを実感しました。県外でも、ここで学んだことを周りに教えていきたい／二度と戦争が起こらないために、自分に出来ることを見つけ、行動していったらと思った／歴史を学び、再び繰り返すことのないようしっかり伝えていきたいと思った／毎年ここに来ると平和であることに感謝し、平和であることを切に願っている／「平和慣れ」した自分達の世代には、受け止めきれない重さもある／証言集に胸をつかれ、次の世代への平和を受け継ぐ重要さを深く感じた など

#### ③ 沖縄戦や沖縄の実情等に関する感想

戦後の沖縄の扱いもひどく、米兵による犯罪に苦しめられた人々のことを想い、また心が痛くなった／実際に体験した方のお話や、当時の写真等、むごいところもあったけれど、それゆえに大切なんだと思った／一般人を巻き込んだ戦争の惨めさを感じると共に、戦争を知らず、飢えにも困らず暮らせることの尊さを噛みしめた／沖縄戦、基地、平和運動、この3つは深い関連性を持っていることが、今回の見学を通して少し分かった気がする／琉球王国時代から現代に至る沖縄の歴史が体系的に理解できた／みんなが見るべき資料館。沖縄が基地反対、平和を祈る行動が本当に理解できた／沖縄のなど苦悩を知ることができた。今も続く状態にいきどおりを感じる など

#### ④ 戦争や平和等に関する全般的感想

平和の大切さや、命の重みなどを考える事が出来た／どんなに平和が大事か、実際に起こったひどいことを知る事が出来た／何度来館しても、戦争の恐ろしさが伝わる／戦争で良い事の一つも無い。平和でありますように／どんな美しい言葉や正義も戦争を肯定できないことを改めて知った／中学生、高校生が熱心にそして涙を流して見ていた。大事な事です など

### (2) 改善・要望

#### ① 展示内容の充実、研究成果等の追加について

展示が何年も変わらず物足りなさを感じている／返還時に関する日本政府に関する情報がもっとあってもよい（アメリカ）／プロセス展示室の展示品をふやしてほしい／基地問題の現在の状況を平和の視点からもう少し知りたい など

② 外国語対応について

英訳された説明文を増やしてほしい（ドイツ）／（外国語は）QRコードを使えばWebで見せられる（海外）／せめて外国人には音声ガイダンスを渡してほしい など

③ 説明版、機材更新について

修繕が必要な展示がある／シルバーの日本語の説明が読みづらい など

④ 館内環境について

もう少し明るくしてほしい／常設展示内にトイレがあるといい など

⑤ 子ども・障がい者等への配慮について

子どもたちが聞けるように記録をやさしくしたほうがいい（スウェーデン）／（聴覚障がいがあるので）映像に日本語字幕が欲しい／ろう者の証言がないのがっかりした（広島ではあった）／証言をすべて見るのは困難。まとめた概要や映像が見たい（アジア） など

⑥ 情報発信について

本土の人にもっとアピールしてほしい／館内撮影禁止だったのが残念（アメリカ）など

⑦ 未来志向や歴史的事実認識について

過去も大事だが、もっと未来について学ばせるべきでは など

⑧ 次世代への継承識について

子ども達、学生に深く広める（平和教育）が必要／平和を伝える事は現地でしか出来ない など

（３） 苦情・指摘

① 歴史的事実認識等について

情報があまりにも左派的。中道であるべき（アメリカ）／今の展示は、過去の日本軍、米軍、皇室を一方的に悪感情をうけつけるだけだと考えられるため、検証責任がある／プロパガンダにもほどがある など

② 来館者マナー、入場制限等について

修学旅行生で混雑していたため見づらいところがあった／人数規制をしたほうが良いと感じた など

③ 機材について

調整中、故障中が多い。文字が消えていたり、文字が小さい など

④ 本物の重要性について

以前に比べリアルさが少なくなった など

⑤ 外国語対応について

もっと翻訳を増やす必要がある（アメリカ） など

## ②監修委員・内外関係者アンケートのまとめ

### 1. 各展示室共通

#### ① 見やすく、分かりやすい解説パネルに

- ・文字量や文字サイズ、文字フォント等を工夫し、見やすくする
- ・用語説明、地図や写真、イラストを用いてビジュアル化するなど分かりやすくする

#### ② 25 年間の研究成果・出来事等を反映した展示に

- ・この 25 年間に刊行された県史、地域史、膨大な証言資料を活用・反映し、犠牲者などの数値を見直したり、地域の沖縄戦を伝える必要がある
- ・基地問題（アメリカ軍、自衛隊）はじめ、この 25 年間の出来事を反映する

#### ③ 住民の目線や姿、証言（ナラティブ）を加える

- ・この 25 年間に刊行された県史、地域史、膨大な証言資料を活用・反映する
- ・住民目線、県民の言葉で戦前、戦中、戦後の変化を語る。子どもに焦点を当てた展示
- ・展示に証言を組み込む

#### ④ 展示のテーマ、コンセプトを明確に示す

- ・展示テーマがすぐにわかるような工夫
- ・意味のカタマリ、展示の意図を伝えるパネル等の新設
- ・公園や建物など全体のコンセプトを説明するパネルの設置。礎と資料館を一体とする

#### ⑤ 観覧目的に応じた動線を設定する

- ・（修学旅行等の来館者に対応するため）1 時間で回れるコースを設定する。
- ・混雑している時にも通れる別ルートを用意する
- ・詳細版、ダイジェスト版パネルを設置する

#### ⑥ 子どもや障がい者などに配慮する

- ・段差の廃止、展示パネルの高さ、展示ケース
- ・子どもの目線に合わせる

#### ⑦ 多言語に対応する

- ・海外からの来館者に向けた外国語の解説を整備する

#### ⑧ 五感を大切にした体験型展示の採用

- ・目で見て感じ、手で触れて感じられる展示

#### ⑨ 平和をどうつくっていくか、考えてもらう展示

- ・段差の廃止、展示パネルの高さ、展示ケース
- ・二度と戦争を繰り返さないために、何をすべきか考えるようなものに
- ・子どもたちが話せる場所が必要

#### ⑩ 説明員の配置

- ・解説員が適切に配置されていない。各コーナーに説明員がほしい

## 2. 第1室ー沖縄戦への道

### ① 実物資料についてきちんと解説する

- ・展示資料に対するキャプション、文献資料には翻刻や現代語訳を添えるなど、展示されている資料について、きちんと解説を加える
- ・資料と展示パネルの内容を合致させる

### ② 映像と展示内容をリンクさせる

- ・映像があっても展示にまったく情報がないものがある

### ③ 流れを分かりやすく

- ・9本の黒いポールにテーマが設定されているが、全体の年表がないため流れが見えにくい
- ・沖縄戦にどうつながるのか、分かりにくい
- ※一方で、流れは分かりやすいというご意見もある

### ④ 疑問文を導入にしては

- ・「なぜ、皇民化政策を進めたか」「なぜ、改姓改名をさせたか」といった疑問文を入り口にまとめてはどうか
- ・なぜ、現在のような状況になっているのか、というところから入っていくことも一考

### ⑤ 企画コーナーの見直し

- ・企画コーナーの存在が目立たない。新しい研究成果を見せるなど、情報の入替えがあってもいいのではないか

## 3. 第2室ー住民の見た沖縄戦『鉄の暴風』

### ① 北部、離島を含めて沖縄戦の経過を示す

- ・結局、どうなったのか分からない。日付や沖縄戦の簡単な経過やコンセプトを示す
- ・北部や離島についての説明が薄い

### ② データも展示する

- ・（地域史等の研究成果を活かし）住民犠牲者数などの数字を示してほしい
- ・一発の弾でどれほどの被害が出るのか入れると分かりやすい

### ③ 映像を見やすく、理解しやすいものに

- ・座席を増やし、映像をじっくり見られるように。また、映像の用語が難しい。子どもも理解しやすくしたい
- ・地図にスポットライトを当てるなど、映像と地図との連動させる
- ・地形ジオラマに黒い棒が突き出ている映像が見にくい
- ・スクリーンの前を人が通るので、落ち着いて映像が見られない
- ・スクリーンを見上げるため、子どもにとっては身体的につらい

#### 4. 第3室一住民の見た沖縄戦『地獄の戦場』

##### ① ガマの説明、演出を充実させる

- ・写真や証言、モノ展示を充実するなど、ガマの展示を充実させる
- ・ガマの中に赤ちゃんの泣き声、兵士の声、しずくの音などの演出を加える
- ・兵士の銃が沖縄戦時のものと齟齬があるなど、違和感がある
- ・ガマの中は、真っ暗な状態も体験できると良いのではないか
- ・投稿のビラを取る住民も絵でなく人形造形が良い

##### ② ガマのスペース等を見直す

- ・ガマを通り抜けられるようにできると修学旅行など団体も利用しやすい
- ・ガマのスペースを拡大し、考える場として活用できないか

##### ③ 実物資料展示を充実させる

- ・展示物（実物資料）を定期的に変更することはできないか。砲弾の破片など
- ・砲弾や水筒も触れるようにし、体験性をもたせたい

##### ④ 写真の説明も充実させる

- ・きちんとキャプションをつけないと想像できない世代がふえていく
- ・「犠牲となった住民」の写真は、砲撃ではなく集団自決であることが明らかになっている
- ・子どもは怖がったり、気持ち悪がったりするだけ。戦場の場面と向き合う仕組みを考えて

#### 5. 第4室一住民の見た沖縄戦『証言』

##### ① 証言そのものを充実させる

- ・市町村史等で集められた証言も加えてほしい
- ・証言も定期的に入れ替えてはどうか
- ・外国人向けに「やさしい日本語」での訳も検討してはどうか

##### ② 証言文の展示システムを見直す

- ・証言をめくる際に音が出にくいものに
- ・インデックスがあると分かりやすい

##### ③ 証言映像の展示システムを見直す

- ・感染症を踏まえ、一度に5～6人の人が聞けるシステムに
- ・QRコードを使うなど、来館者自身のスマートフォンで視聴できる仕組みがあっても良い
- ・（ひめゆりのように）流しっぱなしの証言映像があっても良い

##### ④ 言語対応

- ・証言映像のなかで、うちなーぐちの証言部分には字幕を入れてもらいたい
- ・外国人向けに「やさしい日本語」での訳も検討してはどうか
- ・むすびの言葉は多言語で表示してほしい（英語、中国語、ハングルなど）

## 6. 第5室—太平洋の要石（かなめいし）

### ① 時系列、出来事の関連性を分かりやすく

- ・時系列がずさんで、網羅的な展示になっている。年表にメリハリがなく、重要度が不明瞭
- ・沖縄がどのような立場に置かれたのか、分かりやすく伝えてほしい
- ・戦争から戦後の過渡期（収容所生活や帰村してからの苦労、遺骨収集など）も展示が必要

### ② ジェンダーの視点、人権問題の観点が希薄

- ・収容所での暮らしについての説明がほしい（栄養失調、マラリアなど）
- ・米兵による女性の殺害には触れているが、そこにレイプが伴ったことに触れていないなどジェンダーの視点が極めて弱い
- ・米軍政府下での女性がおかれた様子が描かれていない
- ・復帰前の事件事故、土地闘争など、住民生活へのしわ寄せがきている事例にフォーカスを

### ③ 情報の更新性

- ・2000年以降の出来事は、サイネージで随時データ更新できるようにしてはどうか
- ・1998年で米軍基地による事件事故が終わっている。軍事強化される現在の沖縄についてもぜひ展示すべき
- ・再びミサイル基地を並べられている現在の情報を追加。年に1度更新整理していくべき

## 7. 子ども・プロセス展示

### ① 平和につながる展示を工夫する

- ・“日本に生まれてよかった”と終わりがねない内容も多く、平和につながる感じがしない
- ・子どもがさわって体験したり、五感に訴えるような要素がもっとあったらよい
- ・戦争に至るプロセスを住民目線から考える
- ・平和をつくる営みが世界中で行われていることを具体的に示す
- ・積極的平和を中心に展示や読み聞かせを実施してはどうか

### ② 機能を追加する

- ・話し合うスペースの確保やワークショップ、イベントに活用しやすい部屋にしてはどうか
- ・ホワイトボードやプロジェクタ、スクリーンがあると使いやすい
- ・ライブラリーとつなげて、どこかで話し合うスペースなどの空間を確保してはどうか

### ③ 学校との連携

- ・夏休みの課題、宿題、自由研究をする場所として活用できるととても良い
- ・先生たちも関わって、一緒に説明や勉強をしてほしい